

【健康が一番】……鈴木

確定申告時期ですが、事務所の申告がほぼ終わりました。



わが事務所の今年の繁忙期、私は体重がちょっと増えました。理由は、間違いなく間食です。何かしら理由をつけて頻繁に間食しているのですから当たり前なのですが…。机の引き出しは、非常食入れストックになっています。更に今年は、所長より毎晩、中華まん・唐揚げ等の差し入れもあり、おいしく頂き繁忙期を乗り切ることが出来ました。

美味しく食べられることは健康な証拠なのです。健康は、人生の土台です。健康でなければ、やりたいことはできません。健康な人は、その価値がわからないかもしれないのです。失って初めて気づくものです。昔、おなか痛くて、「立ってられない」状態の時がありました。時間が経つともによりやく激痛も治まってきて、そのとき初めて痛くないことが実に嬉しい、と感じました。日頃、私たちは体が痛くないのが普通です。しかし、体が痛くないことは、実はとても幸せなことなのです。体が自由自在に動かせることは、恵まれていることなのです。

経営者が一番気にしているのは、会社より自分の健康だと思います。会社を背負っている人の健康が崩れてしまえば、即、会社も崩れてしまうからです。極端に言えば、自分の人生まで崩れてしまうからです。健康な人は、明日は何をしようか？明日はどこ行こうか、といろいろ考えます。それを実現でき「生きている」を手に行っていることは素晴らしいことなのです。

コロナ禍でも、なかなか桜を見に行ったり、春の兆しをゆっくり感じたりということが出来ませんが、春には敏感になってきています。そして今年こそはコロナ過でも、やりたいこと行きたい所が沢山あります。例えば1年半ぶりのゴルフとか、東京ド

ームでのG観戦の戦とか…。やりたいことがたくさんあって、これから実現できるのも、健康があることなのです。

【繁忙期】……小倉

確定申告の繁忙期も過ぎ、この時期は他のことに手がつかない時でもありました。睡眠を削り、夜中に活動して、栄養面も疎かになりましたが、忙しい時こそ敢えて他の人のために時間を使うようにした方が良さそうで、そうすることで時間に余裕があると感じられるそうです。



そうは言っても自分の時間を人に遮られるのは、大変なことで、そのような中この限られた期間で助けてくれました事務所の方には感謝しております。その姿を見て、どんな状況の中でも、自分だけ良ければになってはいけないと思うし、その分、時間がとれたら私自身も周りの方や、この期間、疎遠にしまった人へ時間を注いであげたいと思いました。忙しい時こそ人の姿が見えるのかもしれない。

早く、ひと息して、きれいな桜を見るのが楽しみです。

【3月春の到来】……手塚

お正月の行事も含めて色々な出来事が集中した1月も終わり、時が流れ2月に入ると、すぐに立春を迎え、早速に春の話題を意識することになりました。



“2月は逃げる、3月は去る”と、春はやって来ると駆け足で通り過ぎる季節だと言われてきました。これまで過ごした年月の中で、1月のゆっくりした時の流れに対して、2月は月初めに立春を迎えると、もう3月末の花の季節まで、時は一気に呵成に流れる様に感じてきたためかもしれません。

春が来たと感じつつも仕事柄、3月は春を楽しむ余裕がないのが私の日常です。童謡「春の小川」を私が知ったのはいつ頃だったのか。小学生低学年の時だったと思います。「春の小川はさらさら行くよ…」と言う歌い出しの歌詞と同時に独特のメロディも口をついて自然に出てきました。

この童謡が文部省の唱歌として発表されたのは1912年です。それ以来、子どもたちにこの童謡が親しまれて来たとするともう百年以上も歌われてきたことが分かります。もっとも、この童謡が現代の子どもたちにどれだけ知られているのかはよく分かりません。何れにしても現在、大人になっている人にはよく知られた童謡だろうと思いました。

童謡「春の小川」に歌われたと言われている小川は、現在、東京渋谷近くで地下を流れ、その地表には歌碑が残されています。百年前の「春の小川」は都市化の波に消え去っています。栃木県においても小川と呼ばれるところは減少しているのと思われます。

立春から花の季節まで、あっという間に通りすぎる春です。春が来たとき、春は一体どこから来るのか、そんな興味を意識して皆さんも春の到来をお楽しみください。

【春ですね】……佐藤

晴れた日には日差しがぼかぼかして気持ちいい、風の匂いが変わり……………。



まだまだ寒いものの、2月後半から3月になると、ほんのりと春の気配を感じるようになりますよね。桜の花にはまだ出会えませんが春の息吹が少しずつ感じられる今日この頃。春夏秋冬…1年の始まり春が来ましたね……………

町を抜けて郊外へと車を走らせ、窓の外には春色の景色…ぼんやり眺めながら時間を忘れさせるようなひと時を過ごしてみたい……………

そんな思いです。

コロナウイルス感染予防の為、外出することも自粛された日々を過ごし、頑張りましょうね、の言葉が今は日常になっていることがとてもつらく淋しいことですね。

【魅力】……大和

去年の1月に石の里「大谷」に行きました。



私自身数十年ぶりに訪れたのですが、宇都宮市内から約30分、メイン通りから一本道が違うだけで、突然ダイナミックな景観に迎えられ、まるで別世界に入り込んだような感覚になり、ただただ自然の美しさに圧倒された事を鮮明に覚えています。

私には県外に住む友人がいます。昨年、その友人たちと久しぶりに会おうという話になり、再会の場所を栃木県にしよう！という事になった為、案内場所の候補として大谷を思い出し大谷の他にもいろいろ観光スポットを考えました。友人に栃木県を満喫してもらいたくていろいろ考えましたが、そのお陰で、栃木県には本当に沢山の魅力スポットがあるんだという事に気づきました。去年発表された都道府県魅力度ランキング最下位という結果は

すが、私の周りの友人知人は「栃木県はいいところ！」だと昔から褒めてくれます。それはお世辞でも何でもなく、心からそう思ってくれているみたいなので本当に嬉しい限りです。

残念ながらコロナの影響で再会の話は保留となっていますが、逆にこの時間を有意義に使い、友人に最高のおもてなしが出来たらいいなと思っています。

再会が近い将来であることを願って今から本当に楽しみです。

